



神戸市産業功労者表彰



【産業功労者表彰 農林水産功労者】

かみきたこ

上北古里づくり協議会様 【団体の部】

上北古は神出町の南西部に位置し、豊かな農地が広がっています。また、古くから伝統行事「ふとん太鼓」があり、盛大な秋祭りが行われています。

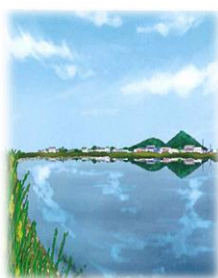
自治会戸数は 135 戸（うち農家 68 戸）からなり、農業では水稲の他、トマト、軟弱野菜の栽培が盛んです。

平成 24 年 12 月には、営農組合を設立し、水稲の作業受託と加工用キャベツの栽培を行っています。

上北古里づくり協議会では、後継者不足や少子化により、農業の将来や伝統行事の継承などの課題の検討が必要となり、「日本一美しい村上北古」をキャッチフレーズとした、里づくり計画を策定しました（市認定：平成 27 年 1 月 5 日）。

計画の実践活動として、平成 26 年度より、兵庫区子ども会連合会との農業体験交流が行われています。

また、平成 27 年 9 月 5 日に、農産物直売所を開設し、集落は活気に満ち溢れています。



農林水産功労者 【個人の部】

農産功労者

坂口 二郎様(神出町) 中戸 修司様(玉津町)
木村 雅彦様(岩岡町) 大西 定吉様(山田町)
山口 明美様(八多町) 馬場 文雄様(長尾町)
上山 福治様(淡河町)

関係団体功労者【兵庫六甲農業協同組合】

笹倉 勝彦様(北営農総合 C) 芝 晴夫様(八多支店)
上元 清治様(長尾支店) 奥田 滋様(上淡河支店)

受賞の皆さま、おめでとうございます



農村定住促進コーディネーターの活動



7 月より農村定住促進コーディネーターの活動を開始し、これまで、農村定住相談ダイヤルでの相談受付や、イベント会場や都市部の商店街などでの相談ブースの設置、里山暮らし体感イベントの実施などの活動を行っています。

相談ダイヤルでは、多くの移住希望の方からご相談をお受けするとともに、空家を処分したいという方からもご連絡を受け、移住希望者の方をご案内しています。

里山暮らし体験イベントでは、実際に農村部に移住された方のご自宅を訪ね（※写真）、移住されて良かった点、苦労された点などをお聞きしました。

これからもこのような活動を続け、農村の活性化につなげていきます。

また、引き続き空家調査も行っていますので、空家の情報などがありましたら、コーディネーターまでご連絡ください。

北区： 淡河の明日を考える会

電話 090-5464-0952

受付時間 木曜日：15 時～19 時

土日：13 時～18 時

西区： 松本里づくり協議会 営農部門

松本 NGK グループ

電話 070-1765-1156

受付時間 平日：10 時～17 時



❁ 損害評価会被害状況報告 ❁

11月4日の神戸市損害評価会（会長 西谷浩）におきまして、平成27年産水稻の被害が確定しました。

今年は7月と9月に2つの台風が近畿に最も接近しましたが、共済の対象となる風水害は、全市で約20a（3筆）にとどまりました。

一方、獣害は全てイノシシによるもので、電気柵の設置や一斉捕獲の取り組みにより昨年より半減しましたが、柵の設置が遅れたところや、新たな場所で被害の発生が見られました。

獣害対策は、農業者の適切な自己防衛とともに電気柵の増設など、継続して対策を実施することで、さらに効果が期待できます。市としても被害軽減に対し、引き続き積極的に取り組んでいきたいと考えています。

平成27年産水稻共済の被害状況について

（平成27年産水稻当初評価高より）

		被害状況		
		北 区	西 管 内	市 全 体
		面積(a)	面積(a)	面積(a)
風 水 害	H27	4.3	15.3	19.6
	H26	14.4	19.0	33.4
	27/26 比	30%	81%	59%
鳥 獣 害	H27	103.4	83.5	186.9
	H26	299.1	167.3	466.4
	27/26 比	35%	50%	40%
虫 害	H27	0	0	0
	H26	0	118.3	118.3
	27/26 比	—	0%	0%
合 計	H27	107.7	98.8	206.5
	H26	313.5	304.6	618.1
	27/26 比	34%	32%	33%

西管内には須磨、垂水、東灘を含む。

H26年の鳥獣害には、鳥害（雀）を含む。



❁ 長尾町岡宮農組合の設立 ❁

12月6日、北区長尾町の岡集落で岡宮農組合が設立されました。

岡宮農組合の設立で、神戸市内では北区で30、西区で33、合計63の集落営農組合が設立されたこととなります。

本市では、コストを削減した農業経営、将来の担い手不足を解消するため、集落営農組合の設立を支援しています。

現在、北区、西区の集落で、集落営農組合の設立にむけた会議を行っています。

ご相談は、農業振興センターふる里振興係里づくりライン（☎975-6845 朝生）まで。



❁ 寺谷集落で米粉の料理教室 ❁

12月7日、西区櫛谷町の寺谷集落では「リ・パーネ にしたに村」（宝塚市）の山脇先生を講師にお迎えし、集落の女性10名が参加して、米粉を使った料理教室が開催されました。

料理教室では、米粉を使ったシュークリームとシフォンケーキを作り、非常においしく出来ました。寺谷集落では引き続き、米粉を使った6次産業化を検討されており、市としてもそのような取り組みを支援させていただいています。

このように、本市では、地域の農産物を使った6次産業化を進めており、料理教室などのご相談は、農業振興センターふる里振興係里づくりライン（☎975-6845 朝生）までお問い合わせ下さい。



第20回 食と農の祭典

(11月29日：農協市場館「農野花」)

地域住民と生産者の交流を通じ、北区の農業と農畜産物をPRする「第20回 食と農の祭典」が開催されました。

当日、ステージでは八多太鼓の演奏を皮切りに、北神味噌のおいしい食べ方の紹介、食育O×クイズなど、多彩な催しが行われました。来場された方は、新米や北神味噌汁の試食、北神ねぎの試食、コロケ、但馬牛の焼肉などの屋台販売を楽しまれていました。



神出 菜の花祭り

(11月8日：神出町の池下集落)

西区神出町の池下集落において、「神出菜の花まつり・収穫祭」が開催されました。

《主催：神出町集落営農連絡協議会》

当日は、家族連れの方など65名の皆様に参加いただき、ジャガイモ掘りやコスモスの花摘み体験を楽しんでいただきました。

また、神出町産の菜の花油で揚げた天ぷら、神出「菜の花米」の新米、神出町産の野菜がたっぷり入った豚汁などの試食も好評でした。



道の駅淡河 ふるさとまつり

(11月21日：道の駅「淡河」)

24回を数えるふるさとまつり。天候にも恵まれ、多数の来場者でにぎわいました。

あたたかい豚汁や、きな粉やおろしのもちのふるまいは大好評。もちつきは一般の方も参加され、大いに盛り上がりました。

恒例の新鮮野菜の直売コーナーでは、商品はほぼ完売。盛況のうちに終わりました。



こうべ地域のたべもの祭り

(12月5日：神戸ワイナリー)

当日は天気にも恵まれ、たべものを食べる、感じる、出会うをテーマに「第6回こうべ地域のたべもの祭り」が開催されました。

今回は、神戸グランシェフオリジナル、西区産の野菜、六甲牛&神戸ポーク及び世界の三大珍味トリュフがコラボした「彩り野菜の紅白どんぶり」をメインに、稲作経営部会恒例の直径1mの米粉お好み焼き、押部谷果樹団地のみかんの販売や梅の剪定枝の無料配布、神戸学院大学による西区産野菜を使ったリゾットなど、さまざまな美味しいメニューが並びました。

また、ステージでは市消防音楽隊による演奏、神戸西いちじく部会品評会の表彰式、大木こだま ひびきの漫オショー、ハワイアンフラ、もちつき大会などが行われ、会場は大いににぎわいました。

